

令和6年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名： 富山大学
 代表学生： 松宮 匠吾
 指導教員： 山崎 裕治

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>獣害管理 vs 希少種保護：哺乳類の出現マップの作製 (自由研究部門)</p>
<p>研究概要</p>	<p>富山県は、多彩な環境を持ち、国内でも有数の自然度を示す地域である。富山県には、50種を超える哺乳類が生息しているが、それら哺乳類の出現状況の実態把握は未だ不十分である。そこで本研究では、富山県内の広域でフィールドワークを行い、哺乳類の痕跡から、形態情報や遺伝子分析に基づき出現種を特定する。そして景観分析を通して、それぞれの哺乳類の出現確率を地域ごとに数値化し、富山県全域における哺乳類の出現マップを作製する。以上を通して、富山県における哺乳類の生息実態を把握すると共に、獣害管理あるいは希少種保護のホットスポットの探索を試みる。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>富山県内各地における哺乳類の出現状況を確認するために、平地、丘陵帯、山地帯などに加えて、許可・届出等を行った上で、立山カルデラや立山・室堂平などの幅広い範囲において、フィールド調査を実施した。調査においては、哺乳類の痕跡(爪痕、糞など)を探索し、発見地点の詳細な位置情報を記録すると共に、糞の一部を大学に持ち帰った。これまでの調査で、クマやシカが樹木に残した痕跡、キツネやテンの糞などが多数発見されている。また、大学において、糞から得た試料の遺伝子分析を行い、種同定を進めている。</p> <p>今後も同様の調査を継続すると共に、景観分析を行い、哺乳類の出現確率を数値化し、富山県全域における哺乳類の出現マップを作成する。</p>
<p>当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>特に変更無し。</p>

立山における哺乳類調査の様子



シカの痕跡調査の様子



糞の記録・採集の様子

